

サステナアワード 2020

伝えたい日本の”サステナブル”

「あふの環（わ）2030 プロジェクト」では、「サステナアワード 伝えたい日本の“サステナブル”」を実施し、皆様の伝えたい食と農林水産業に関わるサステナブルな取組動画を募集します。

応募作品の中から特に優秀な作品については表彰し、国内外の発信に活用させて頂くことがあります。

「あふの環 2030 プロジェクト」は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の 2030 年までの達成を目指し、持続可能な生産と消費を広めるための活動を推進するプロジェクトです（農林水産省、消費者庁、環境省連携）。



【ロゴマーク】

《応募期間》

令和2年11月4日（水曜日）～令和2年12月23日（水曜日）

《サステナアワードにおける「サステナブルな取組」の考え方》

食と農林水産業のサステナビリティに関する6つの項目について、

6つの項目とその例（あくまで例）

・化石燃料の使用を減らしている ・適切に管理された森林由来の木材や紙を使っている ・家畜の飼育に国産のエサを使っている(概ね8割以上)	・包装を減らしている ・通常廃棄される食品等を活用している ・バイオマス由来の廃棄物を有効活用している
・農薬や化学肥料を使わない有機農業を行っている ・資源を守りつつ漁業を行っている ・水田の冬期湛水を行っている	・行き場がない農産物等の支援を行っている ・フードバンクやこども食堂と連携して必要な人に届ける ・人手が足りない農林漁業者を支えている
・排水量の削減など環境への負荷を低減している ・地下水等を汚染させないよう適切な管理を行っている ・生産過程で水を過剰に使わないよう工夫している	・土壌診断を行って化学肥料の投入を最少化している ・被覆作物を植える等で土壌浸食を防いでいる ・有害物質で汚染させないようにしている

※詳しくは、農林水産省ホームページのこちらのアドレスからご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/sa2020.html

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2号館

TEL 048-740-5835 FAX 048-601-0510

<関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意し、 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を!

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しよう!

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



~~大声~~・~~大人数~~・~~長時間~~



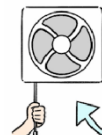
感染リスクが高まる「5つの場面」 URL
<https://corona.go.jp/proposal/>
← 詳しくはこちら!! (内閣官房HP)

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を実践しよう!

- 飲酒をするなら、①少人数・短時間で
②なるべく普段一緒にいる人と
③適度な酒量で 楽しもう!

- 会話する時はマスク着用!
- 箸やコップは使い回さない!
- 席は斜めに座ろう!
- ガイドラインを守る店を選ぼう!

(例)



換気



手指消毒

- 体調が悪い人は参加しない!

